

若者の地方体験交流 募集概要

もとみや
福島県本宮市（人口：30,451人）

体験種目：暮らし・イベント体験



（体験内容等）

- 本宮市を見て、泊まって、触れ合って、まるごと体験。
- ツアー内容はオーダーメイド。市職員がご案内します。
- 本宮市のいいところ、面白いところなど、魅力を発掘してください。
- 体験内容は随時、SNS を活用して発信をお願いします。

（受入期間） 年間を通して随時募集。（1件の申し込みにつき、1泊を想定）

（最寄りの交通機関・所要時間）

J R 東北本線 本宮駅または五百川駅（東京駅からは約 1 時間 3 0 分）

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 県外在住で、本宮市の魅力を発掘・発信いただける方
- 応募締切 年間を通して随時募集予定。詳細は、本宮市移住定住ポータルサイト「もとみやぐらし」を参照。
- 費用負担 無料（ただし現地までの交通費、宿泊費、食費は自己負担）
※ 別途、宿泊費補助制度あり
- 宿泊施設 市内農家民宿またはビジネスホテル
- 食 事 農家民宿に宿泊した場合は、夕食・朝食付き。その他は自己負担
- そ の 他 SNS を活用した市の魅力発信にご協力いただける方に限ります。

（担当者から一言）

本宮市は、福島県のほぼ中央に位置し、東西南北にアクセス抜群の「福島へのそのまち」です。
コンパクトな市内には、多くの企業が立地し人の流れが大きい都市部から、おだやかな空間が広がる山間部があり、それぞれの地域で、住民の笑顔があふれています。
ポテンシャル無限大のまち、本宮市のまだまだ秘めた魅力と可能性を発掘してください。

（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 福島県本宮市 政策推進課 木津 博樹（きづ ひろき）
TEL 0243-24-5323 E-mail iju-teiju@city.motomiya.lg.jp
URL : <https://www.city.motomiya.lg.jp/site/teijyu/>
（本宮市移住・定住ポータルサイト「もとみやぐらし」）



夏秋期カスミソウ生産量日本一の昭和村で、「かすみの学校」に参加してみませんか？



(体験内容等)

苗の植え付け、収穫、選別、荷造り、出荷などの作業
(※カスミソウの生育状況や当日の天候により内容が変更になります。)

(受入期間) 6月～10月までどなたでも何回でも。1日～4泊5日まで。本村としては、3泊4日以上を推奨。

(最寄りの交通機関・所要時間)

- (電車、バス) 浅草 (東武鉄道「リバティ会津」) ～会津田島 (バス) ～昭和村 ※その他ルート有
- (車) 東京～西那須野 I.C.～南会津町～昭和村 (ナビ設定 : 福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島 652)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 高校生以上
- 応募締切 研修希望日の3週間前までにお願いいたします。下記HPからお申し込みください。
- 費用負担 無料 (交通費等の経費を除く) 3泊4日以上を希望される方には交通費の助成 (上限1万円)、傷害保険 (村で加入済み)
- 宿泊施設 村内旅館・民宿 ※宿泊予約は当方でおこないます。
- 食 事 朝食、夜食 : 宿泊施設、昼食 : 村内食堂 (一食1,000円程度)
- そ の 他 農作業に適した服装、長靴、軍手、朝夜は冷えるので暖かい服装

(担当者から一言)

昭和村は赤ちゃんの吐息という別名をもつ「宿根カスミソウ」の夏秋期の生産量が日本一の村です。
新規就農も盛んで毎年20代、30代の就農者が増えており就農後の支援も充実しております。
田舎暮らしに憧れている方、都会の満員電車で疲れた方は是非昭和村の美味しい空気を吸いに来てください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 福島県昭和村 産業建設課産業係 小西圭佑 (こにしけいすけ)
TEL 0241-57-2117 E-mail sangyou@vill.showa.fukushima.jp
URL : <http://www.vill.showa.fukushima.jp/saibai.stm>



若者の地方体験交流 募集概要

いばらきまち
茨城県茨城町（人口：32,346人）

体験種目：農林漁業体験
その他



地元の有志により設立した「ひろうら田舎暮らし体験推進協議会」が中心となり、学生の田舎暮らし体験、農漁業体験等の受け入れを行っています。

都市部と農村部の交流、地域の住民の交流と活性化を目的とし、地域の資源である湖「涸沼（ひぬま）※」の恵みを活かした幅広いプログラムをそろえているのが特徴です。

※関東唯一の汽水湖。魚類、鳥類、植物等の豊かな生態系が見られ、ラムサール条約の登録湿地となっています。

（体験内容等）※体験メニューには、最少催行人数があります。

- 農業体験：野菜や果物の収穫体験、保存食作り体験など。
- 漁業体験：イカダ乗り体験、伝統漁業体験・見学など。
- 郷土文化体験：お囃子体験、花巻寿司作り、マイ箸造り、組子細工作りなど。
- 農家民泊：ご飯作り、家庭での交流など。

（受入期間） 通年（詳細につきましては、お問合せください。）

（最寄りの交通機関・所要時間）

公共交通機関：水戸駅下車 タクシー利用 水戸駅から約 20 分

車：北関東自動車道・東水戸道路 水戸南 IC から約 10 分

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 小学生以上の学生等
- 応募締切 通年（詳細につきましては、お問合せください。）
- 費用負担 現地までの交通費：自己負担（滞在中の移動は、御用意いたします。）
農家民泊体験料：1泊2食付 小学生まで 6,000 円、中学生以上 7,000 円
食事代：農家民泊体験料に含みます。※各種体験料は別途
- 宿泊施設 一般家庭での民泊（民泊新法に対応した家庭もございます。）
- 食 事 ①民泊される場合は、受入家庭の家族と一緒に調理していただきます。
②農漁業体験では、採れた野菜や魚を調理して食べることも可能です。
- そ の 他 相部屋（2人から4人程度）での宿泊が基本となります。

（担当者から一言）

茨城町の地方体験交流は、他地域で実施している農業体験に加え、汽水湖「涸沼」を活かした漁業体験、郷土料理や文化を取り入れた郷土文化体験を用意しております。これまでもゼミや実践教育演習等で、多くの大学生や院生に御利用いただいておりますので、皆様のお越しをお待ちしております。

（お問合せ先）

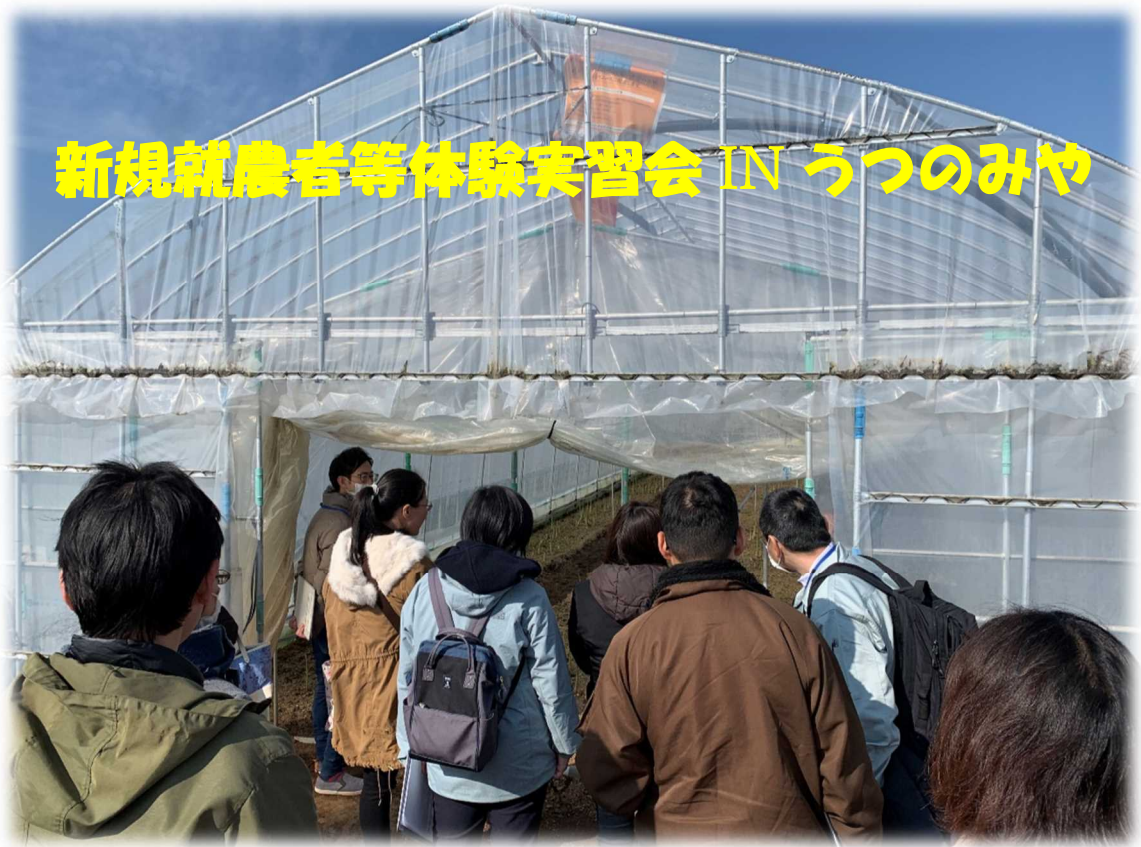
団体名・担当部署・担当者名 ひろうら田舎暮らし体験推進協議会 海老澤 律子（えびさわ りつこ）

TEL：090-9646-9775（直通） E-mail：info@hiroura.jp

URL：<http://hiroura.jp/> Facebook：<https://www.facebook.com/hirourainakagurashi/>



新規就農者等体験実習会 IN うつのみや



（体験内容等）

- ・本市の農業施策，新規就農者支援制度等についての講和
- ・若手農業者のほ場見学と体験談
- ・ベテラン農業者のほ場見学と収穫等体験（トマト，アスパラガス，いちご，ニラ等）
- ・本市農業者，関係機関等との交流会

（受入期間） 2月中旬の土・日（2日間）

（最寄りの交通機関・所要時間）

J R宇都宮駅 関東バス「市内循環線（きぶな）」で「市役所庁舎前」で「市役所庁舎前」下車 所要約20分

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 18歳以上で宇都宮市で将来就農を希望する意欲のある者
- 応募締切 開催年の2月中旬頃
- 費用負担 現地までの交通費（自己負担），宿泊費（自己負担），食事代：2日間の昼食，1日目の夜は主催者負担
- 宿泊施設 自身で市内の宿泊施設等を確保
- 食 事 1日目：昼食 弁当，夕食 交流会（ホテル等の宴会料理），2日目：昼食 弁当
- その他 作業ができる服装をご用意ください。

（担当者から一言）

本市では，就農の3大障壁である「農地の確保」・「技術の確保」・「資金の確保」について支援するとともに，就農検討期から営農定着まで，関係機関が連携を図り切れ目のないフォローアップ体制が確立しています。ぜひ，「農業王国うつのみや」で就農してみませんか。

（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 宇都宮市役所 経済部 農業企画課 江連 啓右

TEL 028-632-2473 E-mail 028-639-0619

URL：<http://www2.ucatv.ne.jp/~unk.sea/>

※実施主体は市と農業協同組合が共同出資している公益財団法人が実施している



若者の地方体験交流 募集概要

あしかがし
栃木県足利市（人口：144,457人）

体験種目：地域づくり体験
農林漁業体験
暮らし・イベント体験



（体験内容等）

- ・地域イベントの運営サポート（アートイベント「あしかがアートクロス」、門前マルシェなど）
- ・市内企業でのインターンシップ
- ・映像のまち構想に関連した事業サポート
- ・本市の移住定住に関する施策マーケティング調査

（受入期間） 令和2年4月27日～令和3年3月26日

（最寄りの交通機関・所要時間） JR両毛線足利駅ナカ（足利市移住定住相談センター）

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 18歳以上の学生の方。地域活動に興味があり、人とふれあうことが好きな方。
- 応募締切 令和2年4月27日以降、随時申し込み
- 費用負担 参加に係る諸経費に対して5,000円/回をお支払いします。
- 宿泊施設 市内の宿泊施設（ゲストハウス等）をご紹介します。
- 食 事 各自
- そ の 他 動きやすく、作業できる服装をご用意ください。

（担当者から一言）

東京から東武伊勢崎線で約1時間、都内からのアクセスもよい足利市。まちなかには歴史を感じられる古民家も残り、20～30代のリターン者の飲食店、カフェ、ゲストハウスなども増えています。春には駅から歩いて回れる範囲でアートイベント「あしかがアートクロス」を開催し、日本最古の足利学校門前では門前マルシェを定期的に開催しています。年間60本を超える映画をはじめとした映像制作のロケ地にもなっています。大正から昭和にかけて織物のまちとして栄え、今も中小企業ですが、個性的なモノづくりのまちです。地方に積極的に関わりたい、自分のスキルを活かしたい、そんな若い皆さんのフレッシュなパワーを足利で試してみませんか？

（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 足利市 総合政策部 企画政策課 柏瀬 誠
TEL：0284-20-2275 E-mail：kikaku@city.ashikaga
URL：<http://www.kararikoturn.com>



若者の地方体験交流 募集概要

おやまし
栃木県小山市 (人口 : 167,614 人)

体験種目 : その他



世界に認められた小山市の伝統工芸品
「本場結城紬」の素晴らしさを実感してくだ
さい。



(体験内容等)

本場結城紬の地機(じばた)を使用したコースター織り体験
本場結城紬着心地体験

(受入期間)

【コースター織り体験】毎月第3日曜日
【着心地体験】毎週火曜～日曜(7、8月除く)

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR宇都宮線・東北新幹線 小山駅下車 徒歩1分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 【コースター織り体験】小学生3年生以上対象 一度に最大2名まで
- 応募締切 一週間前までにおやま本場結城紬クラフト館に直接申込み TEL : 0285-32-6477
- 費用負担 【コースター織り体験】1000円 【着心地体験】2,500円
- 宿泊施設 自己負担
- 食 事 自己負担

(担当者から一言)

市の伝統産業であり、国の重要無形文化財、ユネスコ無形文化遺産に登録された「本場結城紬」の生産振興のため、「本場結城紬」の情報発信を行っています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 栃木県小山市役所 産業観光部
工業振興課 結城紬振興係 鈴木 美紀
TEL 0285-22-9397 E-mail: d-kougyo@city.oyama.tochigi.jp
URL : <https://www.city.oyama.tochigi.jp/soshiki/42/214930.html>



若者の地方体験交流 募集概要

ましこまち
栃木県益子町 (人口: 22,053 人)

体験種目: 暮らし・イベント体験
農林漁業体験



“ましこの暮らし”

ご案内します

益子町は、陶器の産地として知られています。
なだらかに広がる田畑に小高い山、春には水
鳥が舞い降り、冬は薄氷に覆われる池、いち
ご、ぶどう、りんごなど里を彩る四季の恵み…。
初めて訪れる人にも、どこか懐かしさを感じさせ
る町です。



(体験内容等)

参加者の希望に合わせたオーダーメイド型のツアーです。

例: 町内エリア見学、空き家・空き地バンク登録物件見学、公共施設見学、先輩移住者訪問、農業体験等

(受入期間) 半日～1 日程度 通年

(最寄りの交通機関・所要時間)

真岡鐵道 益子駅下車、関東自動車バス 益子中学校前下車

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 益子町外在住で、益子町への移住を検討されている方
- 応募締切 実施希望日の 3 週間前までに電話、メール、FAX、郵送等にてお申し込みください。
- 費用負担 ツアーは無料 (交通費、飲食代、体験費用等は参加者負担)
- 宿泊施設 町内ホテル等
- 食 事 自己負担

(担当者から一言)

参加者の希望に沿った内容で町内をご案内いたします。

“手の届く里山暮らし”体験してみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 益子町 移住サポートセンター (道の駅ましこ内) 山内恭美

TEL 0285-72-5530

E-mail iju@m-mashiko.com

URL : <http://www.town.mashiko.tochigi.jp/page/page002177.html>



秩父の関わり方

リピーター続出
の
人気企画!

2019.6.1 栃本茶摘み



こんな方にオススメ★

- ☐ 秩父の人・団体と関わってみたい!
- ☐ 移住・二地域居住を考えている!
- ☐ 地方との「関わり方」を体験したい!

2019.6.1 栃本茶摘み



暮らす、
秩父



移住相談センター



2019.11.2 ワイナリーボランティア

(体験内容等)

- 秩父市内の暮らし情報、移住者向けお試し居住案内
- 地域の人や団体のお手伝いや、普段会えない面白い人に会いに行く
(例: 街中を歩くウォーキングイベント、限界集落の茶摘み体験、ワイナリーボランティア等)

(受入期間) 一年を通じて、適宜募集。(別途HP等で案内予定)

(最寄りの交通機関・所要時間)

西武鉄道 西武秩父駅 (西武鉄道 池袋駅から特急利用で約 80 分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 秩父市への移住検討者。秩父市との関わりを持ちたい方。
- 応募締切 イベント毎に設定
- 費用負担 基本無料 (イベントにより、参加費がかかる可能性もあり。往復交通費・昼食費は参加者負担)
- 宿泊施設 なし (日帰りのみ)
- 食 事 イベント毎に設定
- その他 イベント毎に適宜案内

(担当者から一言)

東京に近くて基本的な生活は不便のない秩父市。観光で来たことのある方は多いと思いますが、観光以上の体験はなかなかしたことがないのではないのでしょうか? 『秩父の関わり方』に参加して、地方にディープに関わるきっかけづくりをしてみませんか? リピーター続出の当イベントで、新しい人生の楽しみ方を見つけてみてください!

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 秩父市 地域政策課 移住相談センター 三ツ井
TEL 0494-26-7946 E-mail seisaku@city.chichibu.lg.jp
URL: <https://www.chichibu-iju.com/>



若者の地方体験交流 募集概要

まなづるまち
神奈川県真鶴町（人口：7,195人）

体験種目：暮らし・イベント体験



年間を通じて気候が温暖で、海と山と緑に恵まれた風光明媚な町、真鶴町でお試し暮らしをしてみませんか。

（体験内容等）

お試し暮らし体験施設の名称は「くらしかる真鶴」です。「くらしかる真鶴」は、元々民間の住宅（空家）だったものが町に寄贈されたものであり、現在は公有物件です。真鶴への移住希望者がお試しで住むことができる施設です。期間中にここから通勤してみたり、物件を探したりすることが可能です。また、町が委託した団体による「町歩き」ではいろいろな町民に出会えるため、ただ住むだけではなく、町のコミュニティも垣間見ることができます。

（受入期間） 7日以上14日以内

（最寄りの交通機関・所要時間）

東海道本線 真鶴駅下車 徒歩7分

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 町内への移住を希望・検討している方
- 応募締切 随時 下記 URL より「真鶴町お試し移住体験申込書」を印刷し、必要事項を記載・押印の上、下記担当者まで郵送で申し込んでください。
- 費用負担 2万円（お試し移住体験参加料）
- 宿泊施設 くらしかる真鶴（真鶴町真鶴453-5）
- 食 事 自己負担
- その他 シャンプー、石けん、歯ブラシ、ゴミ袋、寝間着、トイレトーパーなどの消耗品はご自分でご用意いただきます

（担当者から一言）

真鶴町は、神奈川県西部に位置し、面積は7平方キロメートル、都心まで約100キロメートルの場所にあります。相模湾に向かって突出した真鶴半島の形状が、鶴が羽を広げた姿に見えることが「真鶴」の由来です。豊かな自然と美しい眺め、歴史と伝統文化に関心のある方をお待ちしています。

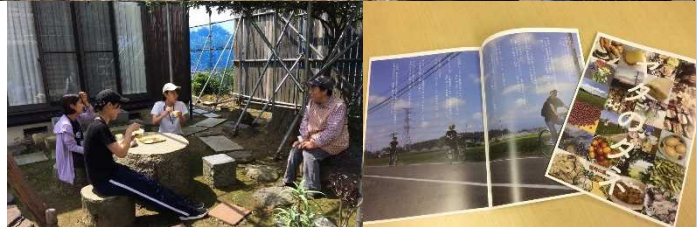
（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 神奈川県真鶴町 政策課 石井俊光（いしいとしみつ）
TEL 0465-68-1131 E-mail sei_senryakusuishin@town.manazuru.kanagawa.jp
URL : <http://www.town.manazuru.kanagawa.jp/tokushu/1224.html>





ヒトに学び、ムラに学び、
自分が活きる、未来をつくる



(体験内容等)

- 約 1 か月間、田舎暮らし体験（インターン）をしながら、住民と一緒にプロジェクトに取り組む。
- 受入れ地域に関するレクチャー（座学、散策を予定）。取り組むプロジェクトに関する講義。
- 様々な住民との交流。地域行事への参加と協力。
- 最終日に、インターン期間中の活動報告会を実施。

(受入期間) 8月上旬～9月上旬の約 1 か月間

(最寄りの交通機関・所要時間)

- JR 信越本線、JR 越後線「柏崎駅」から車で 25 分
- 上越新幹線「長岡駅」から車で 60 分 (駅からの受入れ地域までの送迎はご用意します。)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 主に大学生（1 か月間、受入れ集落に滞在し、活動できる方）
- 応募締切 7 月上旬予定 ※応募順に対応するため、定員に達した場合は締切が早まる可能性あり
- 費用負担 参加費なし 滞在期間中の生活費は自己負担
- 宿泊施設 集落内の空き家 費用負担なし
- 食 事 共同調理 自己負担
- そ の 他 詳細は、5 月中に下記ホームページに掲載予定です。また、新潟県内複数箇所での実施を予定していますので、そちらもご覧ください。

(担当者から一言)

参加者、地域、行政それぞれにとって、大きな学びの機会となる田舎暮らしインターン。市と「にいがたイナカレッジ」が連携して実施しています。地方で新たな価値観や視点に出会い、自分が大切にしたいこと、そのモノサシを見つけない。そんな方をお待ちしています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 にいがたイナカレッジ 井上、金子
TEL 0258-39-5525 E-mail info@inacollege.jp
URL : <http://inacollege.jp/>



かしわぎし
新潟県柏崎市 (人口 : 82,753 人)

体験種目 : 地域づくり活動
暮らし・イベント体験



ここで暮らしたい、
住民と一緒にがんばりたい、
そう思える、地域を見つける



(体験内容等)

応募することを決める前に地域に訪れ、現地を体験する「“おためし”地域おこし協力隊」

- 受入れ地域及び協力隊のミッションに関するレクチャー（座学、散策を予定）。
- 住民との交流、共同作業。先輩隊員との意見交換。
- 最終日に、現地体験での気づきやの振り返りを実施。

(受入期間) 2泊3日程度（日程は、市が申込者と地域に連絡・調整して決定します。）

(最寄りの交通機関・所要時間)

- JR 信越本線、JR 越後線「柏崎駅」から車で 25 分（駅から受入れ地域までの送迎はご用意します。）

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 柏崎市地域おこし協力隊の応募を検討している方。
なお、体験後の応募は必須ではありません。この体験を通じて、改めて応募について検討してください。
- 応募締切 随時。下記担当者に、電話又はメールで、「氏名、住所、連絡先」をお伝えください。
協力隊の募集定員が埋まり次第、申込受付を終了します。
- 費用負担 参加費なし。滞在期間中の生活費は自己負担
- 宿泊施設 集落内の空き家 費用負担なし
- 食 事 自己負担（交流会も実費を徴収します）
- そ の 他 初回の連絡だけで参加申込は確定しません。まずは気軽にご連絡ください。

(担当者から一言)

地域おこし協力隊の募集記事だけではなく、ぜひ実際に現地を訪れ、地域のリアルに触れてください。そして、そこに居る自分をイメージしてみませんか。人を集めるのが好きな方、人々が行き交う中での暮らしを楽しめる方をお待ちしています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 新潟県柏崎市市民活動支援課 中村、廣田

TEL 0257-21-2272 E-mail shien@city.kashiwazaki.lg.jp

<https://www.city.kashiwazaki.lg.jp> 「おためし地域おこし協力隊」



若者の地方体験交流 募集概要

しばたし
新潟県新発田市 (人口：96,939人)

体験種目：暮らし・イベント体験

新発田市移住体験ツアー

令和元年度に3回

平成31年度に4回

開催しました！

各回のテーマに沿った地域の暮らしを体験することができます。

ネットだけではわからない地域の魅力を肌で感じませんか？



→ 過去開催チラシ



(体験内容等)

参加者には、地元の人たちとの交流を通じ、地域をじっくり見て、聞いて、地域での生活をイメージしてもらうことを目的としています。

各回ともテーマを設けて農作業体験・そば打ち・和菓子作りなどのほか、冬の時期にはかんじき作りなどを実施しています。また、地域の人たちと一緒に散策をしたり、郷土料理を食べたり、地域の空き家を改装した施設で宿泊してもらったりと新発田の魅力を満喫できるものとなっております。

(受入期間) 1泊2日の移住体験ツアーを数回開催予定(開催時期については随時市HP等でお知らせします。)

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR 東京駅⇒(上越新幹線)⇒新潟駅⇒(白新線)⇒新発田駅 最短 130 分程度

自家用車 練馬 IC⇒関越自動車道・日本海東北自動車道⇒聖籠・新発田 IC 326.8 km 220 分程度

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 地域への移住に興味がある方ならだでも OK
- 応募締切 各回開催日の1週間ほど前
- 費用負担 各回参加費 5,000 円 ※集合場所までの交通費は自己負担となります。
県外からの参加の場合交通費補助があります。
- 宿泊施設 短期滞在施設「新縁」(新発田市米倉地域)
- 食 事 受入地域で提供
- その他 防寒着、長靴、寝間着、着替え、タオル、歯ブラシ等の洗面用具、保険証などを準備してください。
(各回で別途連絡します)

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 新発田市みらい創造課定住促進・婚活支援室

TEL 0254-28-9531-mail teijyu@city.shibata.lg.jp

URL <http://www.city.shibata.lg.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

おぢやし
新潟県小千谷市 (人口：35,073 人(R2. 2. 28 現在))

体験種目：地域づくり活動
暮らし・イベント体験



私たちと交流しませんか？地域はもちろん、インター生のOB・OGが温かく迎えてくれます。東京で交流会開催。



(体験内容等)

- ・棚田での田植え・稲刈り体験。そして夜は団体の運営する農家民宿で交流会。
- ・7月に開催される全国から集まる自転車イベントでスタッフとして活動。
- ・夏の岩沢祭り・秋の収穫祭での出店補助 ・雪下ろし体験

(受入期間) 通年(イベントごとに)

(最寄りの交通機関・所要時間)

J R 飯山線 岩沢駅下車 徒歩 3 分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 大学生・大学院生から年代を問わず参加可能
- 応募締切 イベントごとにフェイスブック(Facebook)で案内
- 費用負担 参加費・宿泊費・交流会費(内容により 3,000 円～15,000 円くらい)
- 宿泊施設 団体の運営する農家民宿に特別価格で宿泊可能
- 食 事 自費(イベント費用に含まれる場合もあり)
- そ の 他 作業着は各自持参。用具の貸し出しはあります。

(担当者から一言)

岩沢は小千谷市の南部に位置する、世帯数 2 5 0 戸の中山間地域です。人口減少と少子高齢化がすすむ中で、何とか地域の維持と活性化を行おうと、平成 24 年に地域おこし団体アチコタネーゼが設立されました。アチコタネーゼは地域内にある美しい棚田を使い田植えや稲刈りの交流ツアーを実施しています。また、交流施設として農家レストラン・農家民宿の運営も行っています。私達と楽しく交流し地域の未来を一緒に考えませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 小千谷市観光交流課 地域振興係 地域づくり支援員 石曽根 徹
TEL 0258-86-2002 E-mail t-ishi@ace.ocn.ne.jp
URL : <https://iwasawa-ojiya.jimdofree.com/>



(体験内容等)

【農作業体験】 自然の緑に囲まれて野菜づくりや田植え・稲刈り体験を行います。収穫する喜びや自分で栽培したものを食べる楽しみなどを感じていただけます。伝統農法の焼畑による赤かぶの栽培も体験できます。

【生業体験】特産品・郷土料理づくりや自然体験を行います。山北地区の海・山・川、四季折々の自然に触れる体験や、林業体験、集落の体験交流イベントへの参加などを通じて山北地区の魅力を存分に感じていただけます。

(受入期間) 16日間(1泊2日×8回) 5月中旬～12月上旬

(最寄りの交通機関・所要時間)

電車 : JR 羽越本線「府屋駅」下車徒歩 10 分

車 : 日本海沿岸東北自動車道「朝日まほろば IC」から国道 7 号線で約 45 分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 村上市外出身または村上市山北地区にお住まいの方で、田舎暮らしや人との交流などに関心がある方
- 応募締切 4月17日(金) (当日消印有効) ホームページより「参加申込書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、郵送等でご応募ください。参加申込書により選考いたします。
- 費用負担 1回(2日間)の活動につき1,000円
- 宿泊施設 簡易宿泊場所として、交流施設が利用できます。(無料。入浴は近隣温泉施設。部屋等共用)
- 食 事 自炊 自己負担(自炊が基本ですが、昼食会・夕食会を共同調理で行うこともあります。)
- そ の 他 農作業ができる服装を用意してください。その他必要な持ち物は別途ご連絡します。

(担当者から一言)

百姓やってみ隊の活動は、村上市の北部に位置する山北地区で行います。山北地区は、澄み切った海と、地域の93%を占める山林に由来する文化が受け継がれる、海・山・川の幸に恵まれた地域です。皆さんの参加をお待ちしています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 山北地区まちづくり協議会・村上市山北支所地域振興課自治振興室

TEL 0254-77-3111 E-mail s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

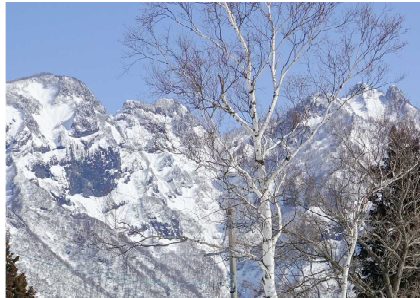
URL : <https://www.city.murakami.lg.jp/site/hyakushou/>



若者の地方体験交流 募集概要

いといがわし
新潟県糸魚川市 (人口：42,021 人)

体験種目：農林漁業体験
就業体験
暮らし・イベント体験



海、山、祭り、雪、仕事あります！ おいでよ、若者!!

(体験内容等)

- 農業体験 (6～10 月) ■ 養鶏・酪農・畜産体験 (6～2 月) ■ 林業体験 (6～11 月)
- 漁業体験 (6～9 月) ■ 手づくり作家体験 (6～2 月) ■ わら細工体験 (10～12 月)
- 農家レストラン体験 (6～2 月) ■ 温泉旅館・ホテル・スキー場スタッフ体験 (6～2 月)
- 新潟インターンシップ参加企業体験 (6～2 月) ■ その他、実施時期に応じた地域行事参加 など

(受入期間) 6 月～ 2 月 (1 週間以上 1 か月以内)

(最寄りの交通機関・所要時間)

北陸新幹線 JR 糸魚川駅 下車 (東京駅から約 2 時間、糸魚川駅から徒歩 5 分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 次の要件すべてに該当する方
 - 新潟県外の方で I ターン・U ターンを検討している大学生や若者 ■ 人と話すことが好きな方
 - 自然 (海と山) が好きで、自然が身近にある生活がしたい方 ■ 自動車を運転できる方
 - やる気があり、何事にも前向きに目標を定めて進める方 ■ SNS を利用した情報発信ができる方
- 応募締切 実施希望日の概ね 1 か月前まで
- 費用負担 ■ 現地までの交通費・食費・生活用品等： 実費負担
 ■ 宿泊費： 不要
- 宿泊施設 活動の拠点となる地域内の民宿又はゲストハウス、受入れ先が用意する住居に滞在いただきます。
 参加者同士の共同生活になる場合もあります。
- 食 事 自己負担あり。基本的には自炊ですが、応相談です。
- そ の 他 詳しくは、糸魚川市ホームページ内「糸魚川で暮らす働く応援プロジェクト」を検索し、ご確認ください。

(担当者から一言)

有意義なインターンシップとなるよう、農業者、漁業者や地域団体等と調整しながら、柔軟にメニューを構築します。就業体験と糸魚川暮らし体験の両方をバランスよく楽しく体験していただければと考えています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名：糸魚川市総務部企画定住課 (田村、白澤、齊藤、宮路)

TEL：025-552-1511

E-mail：kikaku@city.itoigawa.lg.jp

URL：<http://www.city.itoigawa.lg.jp/6868.htm>



若者の地方体験交流 募集概要

じょうえつし
新潟県上越市 (人口 : 190,949 人)

体験種目 : 農林漁業体験



(体験内容等)

農業体験 (水稻 : 耕うん・代掻き・田植え・稲刈り)

(園芸 : 剪定・収穫・選別・箱詰め)

(果樹 : 剪定・収穫・棚補修)

(受入期間) 通年 2泊3日

(最寄りの交通機関・所要時間)

上越妙高駅・直江津駅から妙高はなうまラインで春日山駅へ
春日山駅から徒歩 1 分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 農業に興味のある方 (新規就農希望者等)
- 応募締切 実施日の 3 週間前まで (目安) 体験した分野・受入先農家などと相談するため、早めにご連絡下さい。
- 費用負担 現地までの交通費 : 自己負担
 宿泊費 : 1/2 補助 (上限 1 泊 4,000 円)
 食事代 : 農家負担 (2 日目・3 日目のみ)
 交通費 : 1/2 補助 (上限 片道 10,000 円)
 保険料 : 市負担
- 宿泊施設 市内宿泊施設
- 食 事 受入農家で用意 (要相談)
- そ の 他 ※補助は市外在住の満 50 歳未満 (中山間地域において実施する場合は満 61 歳未満) の方が対象

(担当者から一言)

農業に興味のある方にどんな作業があるのか体験してもらい、上越市がどんなところなのか知ってもらう機会として使っていたきたいです。ぜひお気軽にご活用ください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 上越市農林水産部農政課担い手育成係 担当 : 丸田真由美
 TEL 025-526-5111 (内線 1287) E-mail : nousei@city.joetsu.lg.jp
 URL : <https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/nousei/sinkisyuunou.html>



若者の地方体験交流 募集概要

じょうえつし
新潟県上越市 (人口：190,949 人)

体験種目：就業体験
暮らし・イベント体験



(体験内容等)

上越市に一定期間（2 週間～1 か月間）働きながら滞在し、地域行事への参加や先輩移住者らとの交流会、市職員による地域案内などを通して地域住民と交流します。

(受入期間) 7～9 月、12～3 月のうち 2 週間～1 か月

(最寄りの交通機関・所要時間)

北陸新幹線〔上越妙高駅〕

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 地方移住に関心があり、働きながら地域と交流をしてみたい方
- 応募締切 下記の問合せ先までご連絡ください
- 費用負担 現地までの交通費：自己負担
 宿泊費：自己負担 ※滞在費を支援します
 市内移動のための交通費：自己負担 ※交通費を支援します
 食事代：自己負担
- 宿泊施設 市内宿泊施設等
- 食 事 受け入れ先の各事業所による
- そ の 他 詳細は下記の問合せ先までご連絡ください

(担当者から一言)

働きながら地域の方と交流できます。ふるさとワーキングホリデーで上越市の魅力を体感してみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 上越市自治・市民環境部自治・地域振興課
 中山間地域振興・移住促進係 西條仁晃

TEL 025-526-5111 (内線 1488) E-mail : jichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp

URL : <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/furusato/furusatoworking.html>





（体験内容等）

参加者の希望に合わせて行程調整するオーダーメイド型のツアーです。例えば、農作業体験（稲架づくり、稲刈り、そばの刈取りなど）、集落案内（町内会長や移住者との談話、空き家見学、小売店紹介など）、雪国体験（雪かき、雪掘り、スノートレッキングなど）などができます。

（受入期間） 通年（最大 2 泊 3 日）※年末年始を除く

（最寄りの交通機関・所要時間）

北陸新幹線（上越妙高駅）

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 県外に在住し、当市への移住をお考えの方など
- 応募締切 参加希望日の 20 日前
- 費用負担 現地までの交通費：自己負担※補助制度あり
宿泊費：自己負担※滞在費補助制度あり
食事代：自己負担
- 宿泊施設 体験地周辺の施設
- 食 事 行程による
- そ の 他

（担当者から一言）

移住を検討している、地域を体感し関わりを持ちたい、そんなあなたのご希望に沿って実施するオーダーメイド型ツアーです。まずはお気軽にご相談ください。

（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 上越市自治・市民環境部自治・地域振興課
中山間地域振興・移住促進係 西條 仁晃

TEL 025-526-5111（内線 1488） E-mail : jichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp

URL : <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/furusato/tour.html>



若者の地方体験交流 募集概要

せきかわむら
新潟県関川村 (人口 : 5,471 人)

体験種目：地域づくり活動
暮らし・イベント体験



私たちと一緒に集落を活性化してみたい学生の皆さん、新潟県関川村のインターンシップに参加してみませんか。

(体験内容等)

- ・集落の住民へのあいさつ回りや地域行事の準備・参加等を通して集落の暮らしについて学ぶ。
- ・1ヶ月間まとめ方の検討・アウトプット。
- ・最終日にインターンを通して得た成果の発表。

(受入期間) 8月上旬から1ヶ月間

(最寄りの交通機関・所要時間) JR 米坂線 越後下関駅下車

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 特になし
- 応募締切 7月上旬 (事前申し込みあり)
- 費用負担 無料 (食費は実費)
- 宿泊施設 未定
- 食 事 自炊 (実費)
- そ の 他 不明な点がございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

(担当者から一言)

関川村は周りを山々に囲まれ、村の中央には清流「荒川」が流れる自然豊かな村です。1か月間のインターンでは集落に飛び込み、たくさんの人たちと出会い、住民の一員として田舎暮らしを体験することができます。人と話をすることが好きな人、地方の暮らしに興味がある人はおすすめです。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 新潟県関川村・総務政策課 観光・地域政策室 米野哲弘
TEL : 0254-64-1478 E-mail : kanko-seisaku@vill.sekikawa.lg.jp
URL : <http://www.vill.sekikawa.niigata.jp>



若者の地方体験交流 募集概要

となみし
富山県砺波市 (人口 : 48,309 人)

体験種目 : 暮らし・イベント体験



大学生の皆さん、ちょっと、砺波に来られまー。
ごっつおだいてあげるし、いーとこ連れてってあげっちゃ。
一緒に楽しもまいけ。待っとっちゃ！

(体験内容等)

大学ゼミ合宿などを支援します。方言調査が特にオススメ！(対象の話者として経験のある地元住人を紹介できます。)
○散居村の伝統的家屋【砺波暮らし体験施設 佐々木邸】で宿泊し、全国的にも珍しい伝統景観も学べます。
○伝統的な暮らしや文化を体験できます。(報恩講で出された伝承料理、地域住人との交流【B B Qや餅つきなど】)

(受入期間) 通年(年末年始除く。)※砺波暮らし体験施設「佐々木邸」を利用する。(予約は1日1団体)

(最寄りの交通機関・所要時間)

となみ散居村ミュージアム 北陸自動車道砺波 I Cより車で5分 J R 砺波駅からタクシーで5分
砺波市営バス 南部循環線 となみ散居村ミュージアム下車

(応募要件・注意事項)

○参加要件 大学のゼミ教室などを単位とし、先生及び学生などを対象とします。
○申込期限 おおむね実施期間の初日の1か月前までに、指定の参加申込書に必要事項を記入して提出してください。
○費用負担 宿泊者1人・1泊当たり 2,000円(最長6泊7日以内)
○その他 朝食と夕食は原則提供します。また、砺波市などの特色ある施設、場所などへ案内します。

(担当者から一言)

富山県の西部、砺波平野は、加賀百万石を支えた米どころであり、農家が戸一戸散らばる全国でも珍しい農村景観の散居村が今に残っています。家々も全国有数の広さがあり、その伝統的な民家を宿泊場所として提供します。
この宿泊場所をベースに、散居村の歴史や展望台からの圧倒的な景観、砺波といえば「チューリップフェア」に代表される球根栽培、「庄川峡」遊覧など、学びと楽しみが満載の企画があります。
特に、東西日本の中間位置にある砺波地方の方言は、面白い方言学習の場となっています。
「大学生の皆さん、ちょっと、砺波に来られまー。ごっつおだいてあげるし、いーとこ連れてってあげっちゃ。一緒に楽しもまいけ。待っとっちゃ！」この意味は、砺波にお越しになった時にお教えしましょう！

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 となみ散居村ミュージアム 島田
TEL 0763-34-7180 E-mail info@sankyoson.com
URL : <https://sankyoson.com/>

